

農業



宮平勇希さん

宜野座村農業青年クラブ
連絡協議会会長

農業を通して若者の雇用創出に 尽力したいです。

宜野座村では若手農家育成に力をいれていて、宜野座村農業後継者等育成センターで二年間研修手当を得ながら農業の基礎を学べるので、スタートアップフォローや手厚いサポートが強みです。現在の会員は20代～40代を中心とした約30名で、普段は村開催のお祭り運営や清掃などのボランティアをしています。今後の展開としてはメンバー同士の積極的な交流会を企画し、情報交換を重ねていく中でお互い刺激し合いながら、村全体の農業の向上に繋げていく組織にしたいです。将来的には第一次産業の育成に留まらず、農作物を加工品にするまでの六次産業化を支援する土台づくりに力を入れて、農業を通した若者の雇用創出に尽力していきたいですね。

【Profile】

平成30年度、宜野座村農業青年クラブ連絡協議会会長に31歳で就任。自身もさとうきびの加工品を手がけるなど、村で収穫される農作物の六次産業化を積極的に推進しながら、村全体の農業技術の向上を目指している。

道の駅の立役者が仕掛ける 「未来ぎのぞ」。

「道の駅」の役割は地域の皆さんが立寄りやすい施設、交通渋滞の緩和、地域のコミュニティの活性化を図ることを目的としています。沖縄だけで8駅の道の駅がありますが、道の駅「ぎのぞ」は東海岸唯一の道の駅。現在、宜野座村では農産物のなかでもパインを県外出荷することに力をいれているので、全国の郵便局で宜野座村のパインを周知し規格外のパインは道の駅で価格を抑えて観光客の皆さんに提供し、安定供給を目指しながら地元農家に収入を還元しています。将来的には、県外道の駅10カ所にかまえている“ぎのぞブース”を、全国的に展開していくのが目標です。今後も全国の道の駅同士の交流を通して村経済の活性化を目指します。

【Profile】

平成6年から沖縄における「道の駅」事業に携わり農作物の地産地消や六次産業化を成功させた手腕をかわれ、道の駅「ぎのぞ」駅長に就任。県内外の駅長と交流し九州のまとめ役を担う。

商工



比嘉雅貴さん

道の駅「ぎのぞ」駅長兼
株式会社未来ぎのぞ所長

宜野座村を interview

支える人たち

宜野座村に関わりのある各分野の最前線で活躍するキーマンにお話を伺いました。

IT



畔上修一さん

西日本電信電話株式会社
沖縄支店 支店長

豊かな未来へ向け、 ICTを活用した村づくり

NTT西日本沖縄支店は平成30年に宜野座村と「情報化に関するICT連携協定」を更新させていただき、村のパートナーとして「観光」「防災」「教育」を中心とした村の発展に資するICT活用のサポートを進めております。リニューアルオープンした道の駅「ぎのぞ」ではインターネット接続環境の提供や、デジタルサイネージによる多言語での観光情報発信など、観光客向け情報ステーションとしてICTを活用し、村の観光振興に貢献させていただきました。今後は、観光情報コンテンツの拡充など観光分野における更なるICTの活用や、スマホ・タブレットなど多様化するメディアに対応した防災情報発信、教育ICTの取組みとして、プログラミング教育や遠隔の学校とオンラインで繋がるなど、様々なICTの活用で宜野座村の更なる活性化を支援し、多くの方々に魅力的だと思っただけの村づくりに貢献していきます。

【Profile】

福井県出身、平成29年7月より現職。離島のブローバンド化を推進し、与那国町で遠隔授業等の実現や、平成30年度よりISCOの理事に就任するなど、ICT活用による沖縄振興に資する取組みに従事。

観光



仲間赴人さん

宜野座村観光協会事務局長

道の駅を核とした観光の 活性化を目指します。

現在「ぎのぞワンダフル Friday2018」という金曜日に特化したイベントをスタート。内容としては村民を講師に迎えてヨガなどの朝活にはじまり、昼はお母さん向けの料理教室、夜は仕事帰りの若者向けのワークショップ等を開催して村内外からお客さまを呼び込みます。また奇数月の日曜日に開催する「ぎのぞマルシェ」では、村内でものづくりをしている方々の作品を紹介しています。こちらは道の駅を核としたイベントとして根付かせたいので、周知と浸透に力をいれていきたいですね。最終的には村民にとってビジネスチャンスが生まれるような仕組み作りをしていきたいです。365日いつ来ても、楽しい!と言って頂ける施設を目指します。

【Profile】

「生まれた村に恩返しすることを仕事に。」をモットーに、沖縄パーガーマフェスタinぎのぞをはじめとする宜野座イベントを企画、成功に導く。観光拠点施設を核に村民にビジネスチャンスが生まれる仕組み作りを奮闘。